

## 基本仕様書

### 1 件名

国際学生寮入館管理システム及び監視カメラシステム一式賃貸借

### 2 設置場所

広島市安佐南区大塚東三丁目 国際学生寮内（平成30年4月開寮予定）

### 3 契約期間及び履行期間

- (1) 契約期間 契約締結の日から平成35年3月31日まで
- (2) 履行期間 平成30年4月1日から平成35年3月31日まで（5年間）

### 4 業務概要

入館管理システム及び監視カメラシステムを賃貸借履行期間開始前までに指定箇所に設置し、利用可能な状態にするとともに、契約期間中システムが安定的に利用できるように保守業務を行う。

### 5 賃貸借物件

区 分		数量
入館管理システム	入館制御システム	一式
	照合装置	1台
	RFIDタグシール（ICチップ内蔵シール）	2000枚
	LAN配線等その他附属設備	一式
監視カメラシステム	ネットワークカメラ	1台
	全方位対応ネットワークカメラ	6台
	録画記録装置	1台
	LAN配線等その他附属設備	一式
19インチネットワークラックその他附属設備		一式

### 6 入館管理システム機能仕様

#### (1) 入館制御システム

（基本機能）

- ① 自動ドアに隣接した壁面等に照合装置を設置し、登録したRFIDタグシールを認証（タッチ）させることで、自動ドアを開くことが有効となる形態であること。
- ② 館内から退出する際のRFIDタグシールのタッチは不要とする。
- ③ システムからのスケジュール制御等により、常時自動ドアを開くことが可能な状態になっている時は、RFIDタグシールをタッチしても自動ドアの状態は変化しないものとする。
- ④ システムからのスケジュール制御等により、自動ドアの開閉が不可能な設定となっている場合は、RFIDタグシールをタッチしても、館内から出る場合であっても、自動ドアの開閉ができないものとする。

#### ア 自動ドア開閉制御

- ① 照合装置と連携し、自動ドアを開くことが可能な時間帯を制御できること。
- ② 自動連続解錠（照合することなく自動ドアを開くことが有効）の時間帯設定ができること。

#### イ 入館制御・個人照合権限チェック制御

- ① 照合装置にRFIDタグシールタッチすることにより、自動的に照合データの有効・無効の判断を行い、自動ドアを開くことが可能・不可能の制御ができること。
- ② 事前に設定した入館権限を、指定した日付や時間に自動的に切り替えることができること。  
(通常は入館可能であるが、開始・終了年月日時分を設定して一時的に無効化できること。)

#### ウ 照合装置使用禁止制御

- ① 照合装置の読み取りを自動的に停止又は認証時間帯制御などにより、全ての時間帯に入館権限を持った人であっても、夜間、休日など予め設定した時間帯には、自動ドアを開けることができないこと。また、システム操作により、一時的に照合装置の使用を禁止できること。
- ② 平日、土曜、日曜及び休日を区分して、自動ドアを開くことが有効な日や自動連続解錠の日をスケジュール制御設定できること。

#### エ 火災連動制御

火災報知設備より警報信号を受信することで、自動ドア（電気錠）の解錠が行えること。

#### オ 履歴管理

- ① システムで発生したイベント（正常操作、異常、入館履歴など）を保存できること。
- ② 保存した履歴から指定した期間及び時間中の入室者を検索できること。
- ③ 履歴データは3ヶ月以上保存することができること。
- ④ 保存されている各種履歴情報を「期間」、「出力対象項目（個人やイベント等）」を任意に指定して検索することができ、検索結果をモニタ上に表示及びファイル出力（テキストファイルデータなど）できること。

#### カ RFIDタグシール及び個人情報管理

- ① RFIDタグシールと個人情報の登録システム内で紐付け管理できること。
- ② RFIDタグシールの登録件数は2,000件程度できること。  
(参考) 1年間の利用登録数
  - ・寮生 約100名（1～2年間で全員が入れ替わる）
  - ・教職員等 約60名（教職員、寮管理人、短期滞在者）
- ③ 個人情報には名前以外にも、付帯情報（学籍等番号管理：10桁、緊急連絡先等）が入力できること。また、更新年月日も表示できること。
- ④ RFIDタグシールの利用禁止登録を行うことで、照合装置での照合できず、自動ドアを開けることができないこと。
- ⑤ CSVデータ（テキストデータ）を使用したインポート機能を有し、一括登録または一括削除ができること。
- ⑥ RFIDタグシールに管理上等で情報の書き込みや書き換えを行う必要がある場合は書き込み装置及び必要なソフトウェアを2組附属（国際学生寮管理人室用と学生支援室用）させること。

#### キ その他

- ① システム（ソフトウェア）、コンピュータ本体、21インチ以上のフルカラー液晶表示装置、キーボード、光学式マウス及び無停電電源装置（10分程度以上の電源保持し、瞬停発生時でもシステムが安全に利用可能であり、停電時にシステムを安全にシャットダウンできること。）で構成すること。システムの安定稼働や保守等を考慮し、入館制御システム用のサーバとシステム管理用パソコン、その他制御装置を分割して導入する必要があると判断される場合は、必要な機器等を本調達範囲として附属させること。
- ② 各種登録・設定及び履歴データをテキストファイル形式等で外部記憶装置に保存できること。

## (2) 照合装置

RFIDタグシールの情報を読み取りし、入館システムにその情報を送ることができること。

## (3) RFIDタグシール

ア 学生証（F e l i C a形式）に貼り付けて利用しても相互に利用上の問題が発生しないこと。

イ 鍵として使用することから、複製等が困難なものであり、入館制御システム及び照合装置と連携し、I D等の読み出しにより自動ドアを安全に開くことができること。

## 7 監視カメラシステム機能仕様

### (1) ネットワークカメラ

次のいずれかの組み合わせ（異なるメーカーの組み合わせも可とする。）とする。ただし、1台の録画装置内に記録等できるようにすること。

メーカー名	ネットワークカメラ	全方位対応ネットワークカメラ
	1台	6台
パナソニック	WV-SPW611LJ	WV-SFN480
ソニー	SNC-EB642R	SNC-HM662
アクシスコミュニケーションズ	P1425-LE	M3007-P

### (2) 録画記録装置

ア 将来的なネットワークカメラの台数追加に対応するため、少なくとも10台のネットワークカメラが接続可能な機能を有すること。

イ ネットワークカメラで撮影した画像は、録画装置本体に内蔵されたハードディスクに録画できること。全方位ネットワークカメラは切り目なく全方位が記録できること。

ウ 録画容量は本体に1TB程度の記録容量（ミラーリング等含まず。記録機器に搭載されるディスク保存可能容量）を有し、800×600、標準画質、2枚/秒以上で録画したものを20日間程度以上保存できるようにすること。ただし、最終的な記録方式は協議の上で決定する。

エ ハードディスクの故障による画像データ消失に備え、本体内部ハードディスクでミラーリングによる録画記録が可能であること。また、機器の障害時の録画ミスを事前に防ぐため、カメラ異常、ネットワーク異常、録画異常、HDD異常時等が発生した際には、監視モニタ上に警告表示が可能であること。

オ 操作性を考慮し、全てマウスでの操作が可能であること。

カ 外部へ画像を持ち出す際、本体よりメモ리카ードに画像データを保存することができること。

キ 操作権限を限定するため、全操作ができる管理者権限のほか、操作項目を限定したユーザ権限を最低3パターン（一般操作用、検索利用者用など）登録可能であり、ユーザIDとパスワードによりログインの制御ができること。

ク 音声記録、録音再生に対応可能し、録画中であっても検索、再生が可能であること。

ケ 複数台のネットワークカメラ映像を同時に1台の監視モニタ画面内で分割して見ることが可能であること。また、任意の映像を拡大して確認することができること。

コ 監視モニタは、管理人室に設置し、21.5インチ以上の壁面設置可能な液晶モニタ（フルHD 1920×1050以上の表示が可能であること。）とする。

サ 監視モニタの設置や操作制御関係等で録画装置とは別に、監視カメラシステム用に管理パソコン（監視モニタパソコン）を附属させる必要がある場合は、入館管理システム、ネットワークカメラ及び録画装置を同一のネットワーク内で管理できるようにし、可能な限り入館管理システム用の管理用パソコンとしても利用できるようにすること。

## 8 設置方法等

### (1) 設置調整

- ア 火災連動制御方法や電源及びLAN配線整備に係る整備場所・方法（PoE対応ネットワーク機器設置場所や電源取り出し口を含む。）について本学担当者及び広島市立大学国際学生寮新築工事関係者と協議し、その内容に基づき、施工計画書及び施工図面を速やかに作成して提出すること。
- イ 本仕様書に定めのない事項で、本業務の実施に必要となるハードウェア、ソフトウェア及び役務については、本学・受注者協議の上、受注者の責任において、供給、実施すること。

### (2) 設置方法（設置場所）

- ア 各種配線、LAN配線（Cat5e又はCat6を利用すること）及びL2SW等ネットワーク機器（PoE対応を含む。ネットワークカメラは10台まで接続可能であること。）の設置を行うこと。
- イ 配線は広島市立大学国際学生寮新築工事で整備した電線管などを利用した配線とし、露出配線する場合は美観を損なわないケーブル保護材を施すこと。
- ウ 別図1～8をもとに設置を行うこと。各機器は19インチネットワークラック等に搭載すること。
  - ① 国際学生寮玄関自動ドア付近に照合装置を設置すること。
  - ② 国際学生寮管理人室で監視カメラのライブ映像監視等ができるように設置(壁面設置)すること。
- エ 搬入、据付・設置・配線等を含めた設置工事及びソフトウェア設定完了後に、システムテストを実施し、システムが問題なく稼働するか確認すること。システムの稼働確認は、履行期間開始前に10日間以上を試用期間として行うこと。
- オ 本学担当者が問題なくシステムが利用できるかどうかの検査を受けること。検査の結果、本調達の目的及び機能仕様等から追加整備が必要であると判断された場合はその指示に従って本調達の範囲として所要の追加整備を行うこと。

### (3) 完成図書

- ア 本調達で納入する機器・配線の全体構成図及び機器設置図を納品すること。
- イ 各機器に設定したIPアドレスや各種設定情報をまとめ完成図書として提出すること。

## 9 保守等

### (1) 操作方法研修等

- ア 次の内容に係る簡単な利用説明書を作成すること。
  - ① ICチップ内蔵シール登録・無効化
  - ② ユーザデータ登録・削除
  - ③ 自動ドア開閉制御スケジュール登録作業及び照合装置使用禁止制御
  - ④ ネットワークカメラ操作方法
  - ⑤ 録画記録映像検索方法及び録画記録映像再生方法
- イ 納入時に、関係者に操作説明を行うこと。
- ウ 本学からの問い合わせに対し、適宜、作業員を派遣又は電話・メール等にて迅速に対応すること。正常な状態で稼働するように適正な指導・助言を行うこと。

### (2) 保守

- ア 保守期間は本契約の履行期間とする。
- イ 新入寮生・退寮生の登録・削除作業（新入寮生のデータについては本学でCSVまたはExcelファイルで準備する。）を年に1回実施すること。他の年度途中で随時発生する登録・削除は、本学で実施するものとする。

なお、想定作業量は、6(1)カ②の参考情報である「1年間の利用登録数」を参照すること。

イ 本契約履行期間内は、本契約で設置した全ての納入機器等の故障及び障害対応（無停電源装置のバッテリー交換を含む。）について保守範囲として対応すること。また、本システムはインターネットには接続しないが、システム安定稼働に必要な保守作業（システムアップデート及びセキュリティアップデートなど）は、本調達に含めて実施すること。

なお、高額な保守費用が必要なものには、代替品による整備でも構わないこととする。

エ 障害発生時には速やかにシステム復旧できるように所要の対応を行うこと。

オ 問題解決のためにシステムの設定変更等が必要となった場合には、本学と協議の上で実施すること。

カ システムの定期点検・清掃を年に1回実施すること。

## 10 その他

- (1) 受注者は、設備等の設置工事に当たっては、広島市立大学国際学生寮新築工事の現場事務所等本学の施設の一部を使用することができるものとする。この場合、使用する施設は、本学の指示によるものとする。
- (2) 本業務の実施にあたり、申請、報告及び許認可等の届出等が必要な場合、提出書類及び資料等の作成は受注者において行い、その費用は受注者の負担とする。
- (3) 光熱水費は、広島市立大学国際学生寮新築工事の期間中、工事業者の負担であり、使用に当たっては事前に協議を行うこと。
- (4) RFID タグシール及びLAN配線は、契約期間満了後、資産譲渡とすること。